

「現場のムダ」を「成長の原資」に変える。



令和8年度 島根富士通 生産性向上プログラム



人手不足

求人を出しても、応募がなく既存社員の負担が大きい

コスト高騰

エネルギーコスト、原材料費の高騰によって利益を圧迫

改善活動の停滞

改善活動をやるように指示しているが、
第一歩を踏み出せないor継続しない



現場で発生している課題を見える化し、
解決に向けた具体的なアドバイスと改善活動
を行う伴走支援

STEP1 改善ニーズの確認

困りごとを確認し、
改善の目的を明確化

STEP2 現状の確認

【現場の現状把握】
物と情報の流れを把握する
(作業工程・生産計画)
【目指す姿の策定】
目指す姿を実現するための
課題・施策の立案

STEP3 伴走支援

改善活動、5S推進等
PDCAサイクルを実践

対象／県内中小製造業(機械金属、電気・電子、素材等)

費用／無料

申込期限／**令和9年1月29日(金)**



(株)島根富士通について

富士通製ノートPCの国内最大級生産拠点において、2003年より生産革新活動を継続的に展開。トヨタ生産方式を基盤に、現場の実情に即した独自の生産方式を構築してきた。また、現場改善の中核組織として「ものづくりセンター」を設置し、実践的な改善手法を社内外へ展開しており、2015年以降は財団と連携し、本プログラムを通じて島根県内中小製造業の現場改善を支援し、延べ21社に対する改善支援の実績を持つ。

プログラム内容

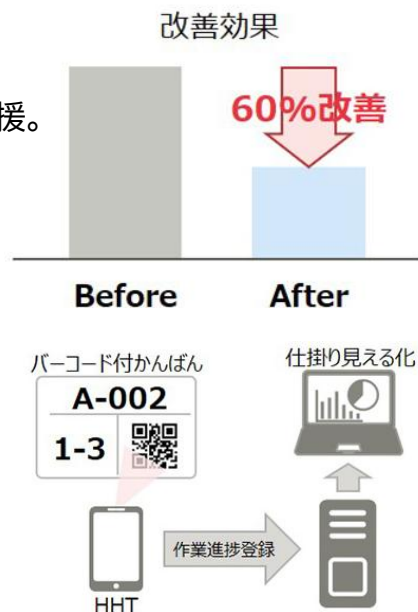
コース	概要	募集数
課題発見 コース 全3回	1 回目(要望ヒアリング、現場の現状分析)	3社程度
	2回目(課題の洗い出し)	
	3回目(現状分析結果の報告)	
改善コース 全10回	1 回目(要望ヒアリング、現場の確認)	
	2 回目(取り組み課題の設定/合意)	
	3~4 回目(取り組み課題に関するデータ収集、 解決に向けた取り組み内容提示)	
	5~9 回目(伴走支援、次回までのアクション確認)	
	10 回目(貴社成果報告、今後の実施アドバイス)	

※課題発見コースを受講後、改善コースへ移行することも可能です。
※本事業による成果公開や広報活動への協力をお願いする場合があります。
※事業終了後、取組状況をヒアリングする場合があります。

支援事例(島根富士通HPより)

内段替え時間の大幅削減(金属加工)

製品切り替えのネックになっていた内段替えを、ビデオ撮影で作業分析することで、最適な改善施策の検討・実施を支援。



工程間の仕掛の見える化(自動車部品)

現物管理していた仕掛品にバーコード付きカンバンを導入し、リアルタイムで工程間の仕掛を見える化するシステムの要件定義を支援。